

宮歯発第 423 号
令和 5 年 2 月 27 日
(大規模災害対策本部)

関 係 各 位

一般社団法人宮城県歯科医師会
会 長 細 谷 仁 憲

大規模災害対策本部歯科保健医療班研修会 「～災害時の食支援を考える～多職種の立場から～」のご案内

向春の候 先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、本会会務運営に格別のご支援とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の大規模災害対策本部歯科保健医療班研修会は下記の日程、講師にて開催いたします。テーマは現在の災害関係研修会等でトレンドとなっている、災害時の食支援について、令和元年房総半島台風で被災された千葉県の地域の対応や経験を学び、11年前の東日本大震災から災害対応時の情報のアップデートを図る研修会となります。本研修会は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点からオンデマンド配信にて開催いたします。

参加申込は下記に記載しております、URL 若しくは QR コードからグーグルフォームにアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

なお、既に各地区において災害時の医療救護メンバーとして登録されている先生方におかれましては、参加していただきますようお願い申し上げます。

記

日 時：令和 5 年 3 月 11 日 (土) 14 時～15 時

配信方法：Youtube を用いたオンデマンド配信

演 題：「令和元年房総半島台風での被災および支援活動
～災害が地域住民のフレイルにおよぼすリスク～」

講 師：森永歯科医院 院 長 森 永 宏 喜 先生

演 題：「災害時の食支援について」

講 師：公益社団法人千葉県栄養士会 理事 総務副部長

佐々木 徹 先生

【受講方法・抄録については、申込フォームから確認できます】

申込フォーム：<https://forms.gle/KnS5QkYPwJCeS3UU7>

宮城県歯科医師会 HP 新着情報からもアクセスできます。

【問合せ先】

○宮城県歯科医師会事務局（担当：千葉・佐藤）

仙台市青葉区国分町一丁目 5-1

TEL. 022-222-5960 Eメール miyuki@miyashi.or.jp



宮城県歯科医師会大規模災害対策本部歯科 保健医療班研修会研修会開催要領

以下、受講方法等をご確認の上、お申込ください。

使用サービス：Youtube

受講方法：①宮歯 HP または、下記 QR コードから申込グーグルフォームにアクセス
宮城県歯科医師会 HP (URL : <https://www.miyashi.or.jp/>)
申込グーグルフォーム (URL : <https://forms.gle/KnS5QkYPwJCeS3UU7>)



②必要事項を入力し送信後、入力したメールアドレスにメールが届きます。
メールアドレスに入力間違い無いようお願いいたします。

※宮城県歯科医師会からメール(miyashi.chiiki@gmail.com)が届きます。
メールが届かない場合、入力したメールアドレスが間違っている、もしくはドメイン指定受信を設定している可能性があります。入力したメールアドレスの確認、ドメイン指定受信されている場合は受信できるよう設定してください。

③受信したメール内の受講を希望する「研修会参加 URL」を
開催20分前にクリックしていただき、受講待機してください。
開始時間になり次第、研修会を開始いたします。

④受信したメール内には各研修会の受講後のアンケートがあります。
ご回答よろしくお願ひします。

配信方法：オンライン講習後、**開催日を含む約3日間の動画配信**

例：3月11日(土) 14時 研修会開始
3月11日(土) 15時 研修会終了
3月11日(土) 15時頃 研修会録画動画の掲載
～動画視聴期間～
3月13日(火) 9時頃 視聴期間終了

動画視聴期間中、登録完了メールに記載のある「研修会参加 URL」を
クリックすることで視聴できます。

質疑応答：受講後アンケートに質問欄があります。回答期間内にご質問いただければご
入力いただいたメールアドレスに回答を送信いたします。回答には約1週間
程度お時間を頂きます。ご了承ください。

注意事項：研修会の動画撮影、ダウンロード、キャプチャー、スクリーンショット及び
その行為に準じるものを禁止致します。
また、研修会参加 URL の転送、配布等を禁止します。ご了承ください。

問合せ先；宮城県歯科医師会（千葉、佐藤、小野寺）
TEL022-222-5960 fax022-225-4843

演題：「令和元年房総半島台風での被災および支援活動 ～災害が地域住民のフレイルにおよぼすリスク～」

講 師：森永歯科医院 院 長 森 永 宏 喜 先生

近年ますます頻発する自然災害に対し、私たち医療従事者が備えるべき課題は山積しています。なかでも重要なもののひとつは食と栄養への対策です。世界屈指の高齢社会となったわが国では、災害を契機に健康寿命を喪失する高齢者が多数発生することが危惧されます。ささやかながら東日本大震災の支援活動を続けてきた私が、図らずも令和元年房総半島台風の被災者となりました。その体験を通じて、「災害時の食と栄養」という視点でお話しできればと思います。

略 歴

森永歯科医院 院長（千葉県鋸南町）

1963年 千葉県生まれ

1988年 東北大学歯学部 卒業（18回生）

1992年 大正期に創立の医院を継承

2015年 米国アンチエイジング医学会認定医（歯科で日本初）
日本抗加齢医学会 専門医

2017年 一般社団法人 国際歯科学士会日本部会フェロー

2019年 日本アンチエイジング歯科学会 常任理事
令和元年房総半島台風被災、支援活動も行う

著 書

「歯科からはじめるアンチエイジング栄養学」（デンタルダイヤモンド社）

「全ての病気は口の中から！歯が痛くなる前に絶対読む本」（さくら舎）

「歯周病はすぐに治しなさい！—口腔から老化と心臓・腸・脳の大病がはじまる！」
（さくら舎）

「機能性医学入門～慢性疾患の予防と治療～」J. ブランド 著 （監訳）アチーブメント出版 など

演題：「令和元年台風15号の被災地支援について」 ～特殊栄養食品ステーションの設置などの取り組み～

講師：公益社団法人千葉県栄養士会
非常災害対策委員会副委員長 佐々木 徹 先生

2019年（令和元年）9月5日に発生した台風15号（房総半島台風）は、9月9日関東地方に上陸し、観測史上最強クラスの勢力で、千葉県を中心に甚大な被害をもたらしました。台風が過ぎ去った後の被害は甚大で、電線・電柱、倒木による交通網や停電、それによる二次被害として給水、空調設備、通信機器などの障害などが何日も続きました。

被災地において、栄養士・管理栄養士が関わっている業務としては、老人保健施設などの入所者や医療機関入院患者への食事提供（給食管理、栄養管理、衛生管理）などがあります。また、市役所などに勤務する行政においても栄養士・管理栄養士が避難所などで地域住民の栄養管理などを行っています。

（公社）千葉県栄養士会災害支援チーム JDA-DAT として、県、鋸南町の栄養士・管理栄養士と連携した「特殊栄養食品ステーション」の設置および「お食事お困り相談」、高齢者施設で業務に携わっている栄養士・管理栄養士への訪問。台風15号による「職場での影響調査結果」について紹介させていただきます。

今回初めての支援ということで、初動の遅れが一番の反省点でした。現在、組織体制、マニュアル、アクションカードなどの整備とともに、千葉県との災害協定の締結に向けて準備を進めています。また、災害時直ぐに JDA-DAT のメンバーと連携が取れる「LINE オープンチャット機能」の活用を始めるとともに、人員確保と質の担保として年に1回研修会を行っています。

全国各地で、今後どのような災害が起こるかわかりません。迅速な判断、対応ができるよう、継続した支援体制の構築を行ってまいりたいと思います。

略 歴

1973年 山形県生まれ

1994年 東京栄養食糧専門学校卒業

1994年 松戸市立福祉医療センター東松戸病院入社

2016年 公益社団法人千葉県栄養士会理事就任

現在に至る